

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2025年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科	食品開発科学科			
科目名称	公衆衛生学概論						授業形態	講義		
科目コード	276300	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験担当教員		○	Active・L	○
担当教員名	柚木崎 千鶴子							ICT活用		
授業概要	本科目の目的は、社会と健康のかかわりを考える能力を養うことです。 個人ではなく集団を対象として、健康の保持増進、傷病の予防を考えるのが公衆衛生学です。公衆衛生的見地から健康問題をとらえる能力を身に付けるよう、わが国の健康の現状、保健行政の動向を統計データに基づいて説明します。調査研究の科学的手段である疫学の概念を講義します。私たちを取りまく種々の環境が健康におよぼす影響を解説します。宮崎県内での保健所勤務の経験をもとに環境衛生管理の実際を紹介します。									
関連する科目										
授業の方法と進め方	テキストを用いて講義します。 授業中に発言、発表を求めることがあります。 グループミーティングを実施することがあります。 また、グループミーティングを実施する準備として課題を出すことがあります。									
第1回	序論：健康問題の変遷、公衆衛生と医療の歴史、保健医療福祉の倫理									
第2回	保健統計：健康水準、人口									
第3回	疫学：疫学の概念と手法									
第4回	疾病予防と健康管理：疾病リスクと予防医学、健康管理									
第5回	保健と医療の動向（１）：感染症の疫学と予防対策									
第6回	保健と医療の動向(2)：主な疾病の疫学と予防対策									
第7回	保健と医療の動向(3)：地域保健・保健行政、母子保健									
第8回	保健と医療の動向(4)：高齢者保健、精神保健									
第9回	環境保健(1)：環境保全対策、廃棄物対策									
第10回	環境保健(2)：公害と環境問題									
第11回	産業保健(1)：労働災害・事故、職業病									
第12回	産業保健(2)：労働衛生対策									
第13回	学校保健：子どもの健康状況、学校保健管理、学校環境管理、学校保健教育									
第14回	国際保健医療：開発途上国の健康問題とその対策、国際機関を通じた協力									
第15回	保健医療の制度：保険制度、医療制度、医療保障									
授業の達成目標	1. 公衆衛生の概念と知識を身に付け、わが国の健康問題を説明できるようになる。 2. 保健統計データを読み取って考察できるようになる。 3. 疫学の概念と方法を理解している。									
学位授与方針(DP)との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力－(1)									
授業時間外学習【予習】	テキストを見て授業内容を把握しておく。(1時間程度)									
授業時間外学【復習】	授業を振り返りながら課題を解く。授業中に取ったメモを整理しポイントをノートにまとめる。(1時間程度)									
課題に対するフィードバック	課題後はグループミーティングを実施し、必要に応じて授業中に解説します。									
評価方法・基準	定期試験 100点									

テキスト	シンプル衛生公衆衛生学 2025 （上島通浩ほか編集、南江堂）
参考書	わかりやすい公衆衛生学 （清水忠彦ほか編集、ヌーヴェルヒロカワ） 国民衛生の動向 2024/2025 （厚生労働統計協会）
備考	